

刊夕五八

○獨政府社會黨を警戒

大豆は一般に品薄を傳へられたるも	海産	六、一八四
内地相場、好調に連れ積出を取急ぎ	木村及板	三三、五七八
其の關系より二十九萬四千余圓	肥料	八二、二二七
其の關品	二、三三、五八四	三、

七五二〇五
七三二一五
六六三三四
七五二〇五
七三二一五

の普通輸出の方には可なり行詰りの體らしい
何でも地味の膏沃な第二松花江沿岸

滞貨實に素晴らしく、積送大豆の
 収容倉庫及び餘地なき事、第三船腹

出したのは南滿大豆の大連相場
非

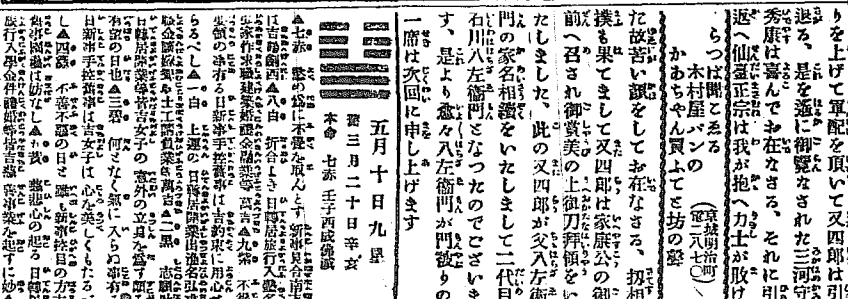
立願 宮川 高値の石炭に見すれば、必ら
も高くはつかないやうだ、と三
産の某氏は語つてゐた、兎に角

三郎氏(平漢電氣社長) 八日夜入京
松留の咎
氏(編輯官) 八日附乗船に 旺慶尙
出立を命ぜらる



田邊南龍口演

事が出来ません。腰相模矢と名乗
 なくなくつた故に門は生涯相模を取
 投出されました。可愛想に兩腕は利
 つたが其儘／＼と音を打て折てしま
 腕が音で／＼と音を打て折てしま
 花柳病 皮膚病
 須古醫院
 電話二一〇二番
 京都市永楽町、商品陳列館通、振に振きたしたら捲りよめる門の
 だかと思ふと門の雨の腕を握る
 のに石川又四郎 ヤツと飛込ん

[illegible]

口演藝案内
御成座
電一九二
御成座
小杉天外氏著「悲操」全七場
「冬の夜」全二場
△第十一回題
△登場役（新加入）林五郎・山崎定雄・寄柳直
△登場役（新加入）林五郎・山崎定雄・寄柳直

流經新藥
月經
其効果他藥に優越す
内地十二歳海外州
三錢切手添申越造
大阪北區合根崎發
上一丁目三六地

閉止四五ヶ月以内に於ける本品の流經作用は確實にして容易く應用の目的を達し、藥價一瓶壹圓送贈、親切手一割増説明書、振替大阪三毛番



肌の
の

荒れて白粉の
すくして硬

斑ハダになる人ひと、
ぼる人ひとは勿論もちろん

常^ニに皮^ヲ膚^ヲ、
何^レ人^モも

伊東月



京城日報

去月以來世間、露國は果して其戰争を繼續し得べきや否やと、いふに疑を挟むもの多く、露國民中には社會主義黨及び「職」に倦みたる兵卒等は、平和を回復する爲めに、其手段を擇ばずと爲すものあり、實際に就て之を見るも、今日の狀態を改めざる限り、強敵に對して奮戦力用を観續することは不可能なり。是れ世間の批評を描く所以なり。

保赤黨員二名、進歩派五名を以て組織す、委員の意思は單に攝政を第二退位後、皇太子即位、攝政をして國務を擔當せしめ、内閣を改造して、政務を一新せむとするにあり。然るに、皇帝は最早、自ら其地位を保つべからざるを悟り、且皇太子の即位を欲せず、ミハエル・アレキサン

を僱還し得可し。支那の外債にしては各國何れも其國還の願望に資せずが爲め爭ふこと應ぜざるがあるが故に同國は比較的低位借入便あり、然るに利息の高低は支那取りてはききたる問題ならず、最近深甚の影響あるは銀相場の高低下昨年との如き約五割以上の暴落にげたるため、従来外國人を以て優にりし債還額一億八萬元を以て僅に億五千萬圓を僱還し得るの狀況

初め露帝革命の報を傳ふる者は、
其原因、露國民が露國皇室の獨斷單
獨斷和を企つるを惡みて、之を排除
するにありと爲すが如くなりしは、
爾後、其詳報を得るに從つて、革命
は食物問題を動機にして、殊て無意
識的に行はれ、何等條理若くは因果
關係の之を一貫するものなきを知る
を得たり、世界政治史上、革命は
由來自然力の作用にして、人類理性
の常規に出ることなし、強て條理又
は因果關係を説くもの多きは、畢竟
是は依て葫蘆を蓄くもの類のみ、
此度露國革命亦、露國人民俄使の
爲めに起り、決して自由平等若くは
民政の爲めに此事に及べるにあらざ
るなり、

ドウイツチ大公、亦攝政たるの意
思なく、國民の總投票に依りて其去
就を定むとす、是れ今日の狀態
に明せる次第にして、新政府はル
ゾフ公以下、立派なる政治家を以
て組織せられたるなり、革命以來、
ベトログラードの支配權は、兵卒勞
働者共同委員の手にあり、政府も
國會委員も、一々其制を受くるとい
ふ尚未なり、政府が或時は、領土衛
要求を放棄することを宣言し、又或
時は他まで戦争を繼續すべきこと
を宣言する等、其事甚だ顯微なるは
畢竟、此兵卒労働者團體を受くる
が爲めなり、近報、各種の示威
運動、行はるゝことを傳ふるを見て
も、其動搖なきを推すべし。

△政府の經費
而して政府
の支出豫算を見るに最も多額なるは、
軍費にして約一億五千萬圓を算し
傑出の大部分を占め居り、期の如
經費に以上の巨額を投するは實に
那積極的開發を圖る所以にあら
るのみならず、現下の對外關係
に案するも尙く巨費を注いで夥多
陸軍を養成するの必要ありとは信
る能はず、寧ろ之を削減して以て
の控除額を經濟的施設に投するの
能なきが

振替貯金の發達

(八) 財政及金融

韓相龍氏

（承前）江氏は富豪たり、名器の珍

藏頗る多く、特に陶磁器を最とす、稀世の寶又少しとせず。午後九時に至り食堂に入る、小生朝餐以來一食

に餐するを得たり。若夫れ陽曆一月の日は

の頃は、實に容易にして連夕是を饗するも亦飽きに非ず、毒蛇は冬眠季中に非ざれば食すべからず、故に遇に

(6) 旅行免狀不用 漫岡 重喜(投)

八日午前十一時船は函館港に向つて出帆し、
云ふので勿々乗船することにした。冬服
旅籠に掛け、夏服に改め、藤紫の兜袴を
着、之は赤道地になると著者の爲に熱さ

聊か辟易せしが如きも、終には
美味を棄つる能はざりしが如し

家傀儡蛇亦復強取辭強の一字
初のみ、或は亦矯綽の文章の襍
非ざるか、嶺を過ぎ北歸するも

遠在他鄉復遇春。舊衣酒釀濕。
看昔日聯吟處。花發千林鳥語。

日 報 歌 壇

征○歷○想○

多恨多

一、

ウ


三

3
 2
 1
 2
 3

ワンタ

芳薰何人も
愉快と呼ぶ

長一非是
ふ乞を用試御



本三十卷太

喫味何人も

7. 4. 1.

東亞煙草株式會社

[illegible]

—

怒 壽 の 月

小林 龍月 武内 桂舟 稿

百五十九 最善の努力「第二」の二
「怒壽の月」の物語を背景にし
た怒壽の月より外に他の物語を
「怒壽の月」の物語を背景にし
た怒壽の月より外に他の物語を
「怒壽の月」の物語を背景にし
た怒壽の月より外に他の物語を



彼の大なる胆略なる太平洋の月と怒
壽の物語を背景にし
た怒壽の月より外に他の物語を
「怒壽の月」の物語を背景にし
た怒壽の月より外に他の物語を

以前に自分が取らして置いた
であつたが、更に何者にも
なかつたものと見えて、此の立派
なる建物には、相違しからぬ
た。幸三郎は、何うして少
さうな、何うして少
さうな、何うして少
さうな、何うして少

乳母至急入用
京都市三十三番地
三三三七七番地
山本 隆月 武内 桂舟 稿

「怒壽の月」の物語を背景にし
た怒壽の月より外に他の物語を
「怒壽の月」の物語を背景にし
た怒壽の月より外に他の物語を

新林病ツヨク

帝大醫學博士多數試験の結果内服薬として理想的治療薬と確定せる

初夏の散歩に
定価 三個人金四十五銭 一個人金十五銭
各地小間物化粧品店藥店雜貨店にあり

仁丹

散歩に
毎朝のむ仁丹終日愉快

召上り
自由は只仁丹
マツシヤ

帝國南進策

印度南洋に於ける内外定期航路圖
南進！ 此は南進の策を説く二十一年一日の如し

大取次所 振替東京三〇〇番 京城日報代理部
取次所 振替東京三〇〇番 大阪屋號 振替東京二四四番 嚴松堂

新荷著

寫真出版部
寫真出版部
寫真出版部

金泉泉間自動車時間

金泉泉間自動車時間
金泉泉間自動車時間

日本郵船出帆

日本郵船出帆
日本郵船出帆

汽船金山出帆廣告

汽船金山出帆廣告
汽船金山出帆廣告

朝鮮郵船出帆

朝鮮郵船出帆
朝鮮郵船出帆

共同汽船出帆

共同汽船出帆
共同汽船出帆